

# 浸水宅から仏壇を搬出

長野市・西敬寺 門徒ら24人がボランティア

記録的な大雨により 東日本各地で甚大な被害をもたらさせた10月の台風19号。長野市・西敬寺（木賣<sup>まうり</sup>慈教住職）では、決壊した千曲川流域の同市長沼地区の門徒33軒が床上・床下浸水の被害を受けた。

記録的な大雨により、東日本各地で甚大な被害をもたらせた10月の台風19号。長野市・西敬寺（木賣<sup>まうり</sup>慈教住職）では、決壊した千曲川流域の同市長沼地区の門徒33軒が床上・床下浸水の被害を受けた。

被災門徒から同寺に「お仏壇が大きく、水や泥を含んで大人4人でもなか持ち上げられない」「お仏壇は丁寧に搬出したい」との声が寄せられ、11月2日に門徒や同寺が独自に行う連続研修会の参加者、仏壇店の社員、運送業者など24人がボランティアとして仏壇搬出作業を行った（写真）。また10月20日に営んだ本堂新築落慶法要で復興支援金を募った。木賣住職は「被害を受けたご門徒はリングゴ5570。

被災門徒から同寺に「お仏壇が大きく、水や泥を含んで大人4人でもなか持ち上げられない」「お仏壇は丁寧に搬出したい」との声が寄せられ、11月2日に門徒や同寺が独自に行う連続研修会の参加者、仏壇店の社員、運送業者など24人がボランティア

